

報 廣 市 原 川 所 五 (青森県)

# 市政ニュース

第94号 一部2円  
発行所 五所川原市役所 印刷所 陸奥印刷株式会社

## 中山山脈の文化を探る ②

津 軽 考 古 学 会  
会 長 秋 元 省 三

先住民ばかりではないが、古い時代の人達は旅をするにしても道路らしい道路がなかつたので、なるべく高い所高い所と選んで歩いたのでたいていの山の峰を通つたらしい。次には山の中腹を通り、近世になつて山麓を開き通るようになったのである。今の山根街道と言うのがそれである。

山岳宗教の代表のような 修験者等が山から山へとわたり歩いたことはいろいろの文献に出ていることでも解るが、この中山山脈に足跡を遺したとはじめて文献に表れたのは役の行者が日本海の海岸沿いに船で北上し、国末の石化崎に上陸したのが大宝元年6月31日(一説には9月10日)だとあるが、記録としては一番古いものではないでしょうかそれは今から1263年前のことである。

坂上田村麿將軍が勅命を受けてエゾ征伐に來たのは延暦の中頃で、同じく23年に再び征夷大將軍となつている。

エゾを鎮圧した田村麿將軍は戦後の宣撫工作として多くの寺院や神社を建立したとある。これが即ち津軽三千坊なのである。三千坊とは寺の数が三千軒建立されたというのではない。 たくさんの寺を建て彼等王化に浴しない原住民に神や仏の道を説き、神仏のとがめを恐ろしさを教える、文化の低い彼等は神仏のとがめを恐れて謀叛等の反抗心を起さないようにするためであつたと思われる。

しかし一方彼等が反乱でも 起そうものなら三千坊の僧共は直ちに念珠持つ手に 兵器を携さえて早速討伐に向う僧兵であつたのである。

津島 国・県に協力要請

## 本格的な第一歩を 産業開発道路

津軽半島縦貫産業開発道路が実現のあかつきには五所川原市が津軽半島部広域経済圏の拠点となることは疑うべくもありません。

これは単に五所川原市のみの問題にとどまらず、津軽半島全域の生命線として推し進めるべき問題であります。

そこでさる七月十九日には田沢代議士、外川県議をはじめ営林局、県係員ら一行が現地視察をおこないその可能性についての検討をおこない、ついで七月二十二日には津島農林政務次官

外川県議、青森営林局土木課山口企画係長、県企画課三橋農林水産班長、同中村技師、林務課今林道係長、同杉村技師、失野五農高校長、同大久保教頭、渋谷市青協会長、市からは佐々木市長はじめ木村農林商工課長、長内企画調整室長ら係員が同行。

はじめ営林局、県関係課長らに集まっていたべきその重要性、今後の進め方についての座談会を開き、いよいよ本格的な第一歩を踏み出すことになりました。

田沢代議士

## 現地を視察

道路を通すにはブルトもザーが果してのぼつて開発作業が可能なかどうかという点についてさる七月十九日田沢代議士をはじめ関係者が現地を視察しました。

午前十時前田野目マリの沢林道から入り釈迦堂山、梵珠山、松倉神社のコースを視察し営林局および県係官の専門的な意見などあつて午後一時下山しました。

### 田沢代議士談

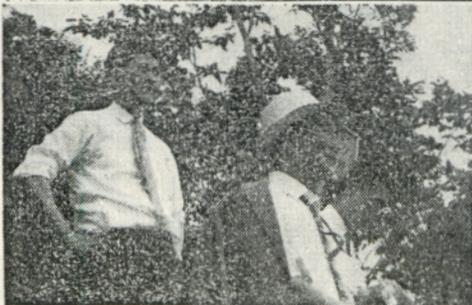
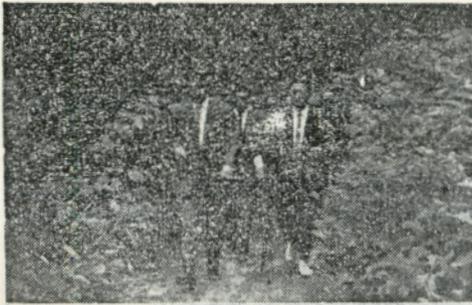
今までの構造改善、開発計画というものは従来のもに對する積み重ねであり造成基盤が旧態依然として変らないためそこからは画期的な効果が生まれてこない。したがつて現在は日本列島そのものの構造改善が強くとりあげられるようになってきている。

国土縦貫道路、東北高速縦貫道路などもそれから起しているものでこの津軽半島産業開発道路もそれに結びつくものとして小さな部分ではあるが日本列島構造改善の一端であります。私もできる限り軌道にのせるよ

### 津島次官を 囲み座談会

う努力します。

この産業開発道路の貫通によつて津軽半島が少なくとも県平均の経済水準にたどりつき、ひいては国の経済成長に追いつく契機をつくり出すことができるかどうか。また今後これを実現するための推し進め方について、さる七月二十二日、青森市において津島農林政務次官を囲み8ミリおよびカラスライイドの映写をみながら語りあいました。座談会の内容は二面に掲載しました。



# 今後の津軽林道はいかにあるべきか

津島 政務 次官

営林局として五所川原市のこの企画を契機としてその実態をよく検討し、それが国有林経営の面にとどのよ

津島 政務 次官  
県、市町村が協力してやらなければならない。  
営林局土木課長

現在ではだんだん高い地形に道路が作られていくという傾向を示している。  
営林局としてもやらなければならぬ工事が山積している。やるとしてもいつやれるかということについては、はつきり申し上げられない。計画書には、もつと抽象的なもののみでなく、実質的な経済効果の調査をほしいと思つている。経営計画の編成期までに、そうした調査ができれば、その時点で検討されることであろう。  
局としても、県の協力を得て一応は調査をしてみるつもりであるが、こうした大事業になると、採算がとれれば問題ないが、経済性の面から果してどうなるか

充分調査する必要がある。

## 県農林部次長

この産業開発道路の進め方としては、やはり最初は林道として持つていき、その後の効果によつて産業開発道路にきりかえるという方式になるのが至当であると思ふ。

## 県企画課長

津軽半島地域は県内でも比較的所得水準が低く、交通産業等の、立地条件に恵まれていない地域である。

幸い近い将来において青函トンネルの着工が実現可能といわれており、同地域の開発に明るい見とおしが得られるので、県としても三十八年度から三十九年度まで二年で現状を調査し、その結果に基づいて総合開発計画を策定することになつている。

## 五農高校長

先日見たところでは、牛は結構飼育できる状態です。

## 五農高校 大久保教頭

むかし今別から金木、青森へつなぐ森林軌道があつた筈である。あれはたしか大正十一年に施設されたと記

## 座談会出席者

(順不同)

- 津島農林政務次官
- 青森営林局本間土木課長
- 同土木課山口企画係長
- 県農林部竹内次長
- 県企画部照井開発課長
- 同山田企画課長
- 同須藤調整課長
- 水産商工労働部樋口観光課長
- 県林務課今林道係長
- 県企画課三橋農林水産班長
- 矢野五農高校長
- 大久保五農高校教頭
- (市側出席者)
- 佐々木市長
- 岩館助役
- 長内企画調整室長
- 阿部同室主任

憶している。

あの当時あれだけ施設をしても採算がとれたのだから整備の整つた現在では充分採算がとれると思う。あの山脈には現在ヒバだけでも四千万石はあると推定される。

## 名称を

### 津軽林道に

このときの座談会でハイキングコースは現在のままハイラインでよいけれども全般をハイラインというのは観光的色彩が強過ぎ、中山という名称は金木以北ではほとんど知られていないし産業開発道路は終局の目的ではあるが、現段階は国有林の森林資源開発が第一段階の意義をしめるものとして、弘西林道に対応し、全国的に名前が通る津軽林道開発と呼ぶことにしました

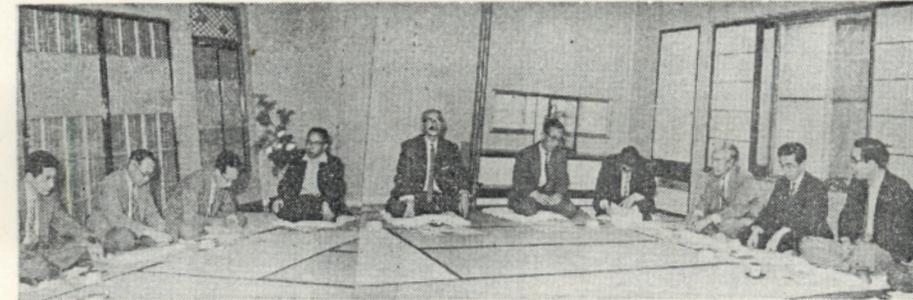
## 五所川原まつり

### 行事きままる

商工会議所主催の五所川原まつりは、ことしも八月四日から七日まで四日間おこなわれますが会期中の行事がこのほど決定しました。

- 四日(日)
  - 花火大会 (午後七時、岩木河畔)
  - 五日(月)
    - 五所川原おどり(午前九時)
    - 仮装行列(午前十時)
    - 商店ねぶた(午後六時)
    - ねぶた(午後八時)
    - スクエアダンス(午後七時、中央公民館)
    - 六日(火)
      - 西北五高中小学校野外演奏会(午前十時北斗グラウンド)
      - 部落対抗伝(午後一時)
      - 子供みこし(午前十時)
      - おどり山車(午前十時)
      - 山羊品評会(午後九時)
      - 商店ねぶた(午後六時)
      - ねぶた(午後八時)
      - 七日(水)
        - 西北五中学校相撲大会(午前九時)
        - おどり山車(午前十時)
        - 子供みこし(午前十時)
        - 商店ねぶた(午前十時)
        - ねぶた(午前十時)

私は今までかなり高い山だとの印象を持つてたのですが、いま写真でみると丘という感じです。岩木、八甲田の山麓にしても四百から六百米の地帯の開発は普通であり、この山も耕地としても充分可能である。  
黒和牛の飼育に適しているので今後そういう方面の開発が期待できる。  
今後の調査についても、あくまで産業開発というものが主体であり、そのための経済効果を調査すべきである。観光というものは附加的に出てくるもので目的の主体ではない。  
私もこれの実現にできる限りの力を尽くしますが、



# 夏休みは 規律正しい生活を

今月末から市内の各学校が夏休みにはいります。  
夏休みは児童生徒の心身の休養と健康の増進をはかるためにもうけられていますが、この期間を多家庭の一員としての経験や理解をふかめるクク自主性の伸長と社会性の育成ククというククとに向けられるようにしてください。

これには児童生徒が休暇中の生活計画を自主的に立てるようにし、規律的な生活態度や慣習の育成にククとめるククが重要と思われま

生活指導は特にいろいろな意味でこの期間に効果をあげることが出来るものです。同時に児童、生徒を失敗させるのもこの期間が最も多いのでよく注意しましょう。

自分を信頼してくれる人が身近にいるという意識が子供たちをこの上もなく幸

## 善意銀行支店

### いよいよ開設

青森県善意銀行五所川原支店がいよいよ八月一日から開業することになりましたこの銀行はみなさんが社会のためになることをしたい恵まれない人々の力になり

たいというあなたがたの善意を登録(預託)していただき、あなたがたの希望によつて、とき、ところを選び最も確実に、合理的に役立つ(払出)のが善意銀行です。

何卒この趣旨をご理解のうえ、あたたかいご支援、ご協力をくださいますようお願いいたします。

支店は市福祉事務所内に設置され預託事務の準備を進めております。

なお預託の種類はつぎのとおりであります。

- ① 技術預託 ② 労力預託
  - ③ 金銭預託 ④ 物品預託
  - ⑤ 団体預託 ⑥ 特殊預託
- なつております。

## 旧地主の調査

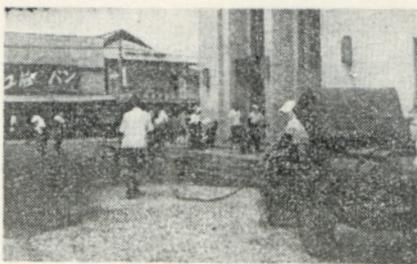
### 申告10日まで延期

農地改革により買収された農地等の旧所有者(旧地主)の調査を去る七月一日から市役所旧公益質屋で受付しておりますが、この申告期限が八月十日まで延期になりました。まだ申告をしてない人は至急申告をするようにしてください。

## 舗装完成

### 本町と布屋町

市建設課では三十八年度の失対事業として本町青銀通りと布屋町白戸写真館通りの舗装をおこないました。この舗装はアスファルト乳剤舗装で、本町通りが一七〇メートル、布屋町通りが一八〇メートルで二十三日それぞれ完成しました。



(写真：本町舗装工事)

## 岩木川での

### 水泳を禁止

ことしも水泳のシーズンとなりましたが、こどもたちを水難から守るために五小南小、五中の三校が協議し児童、生徒の岩木川での水泳を禁止することに申し合せしました。

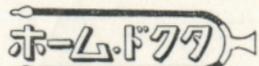
## 編集だより

永らくおまたせいたしました。市政ニュースの綴り表紙ができましたのでおとどけいたします。

市政ニュースは綴つて保存するようにしましょう。

## 『腹こわし』はすぐ医者に

西北中央病院第二内科  
分院長 安 保 順 一



いよいよ夏休みシーズンです。暑さとともに、氷水、アイスクリーム等の需要も増え、寝冷えする回数も多くなります。



ともすれば、ク腹こわしクを起し易い季節

節でもあります。遠くは帝國ホテルや富士ホテルの集団赤痢や、近くは青森市に発生した腸チフス、赤痢等伝染病多発の傾向はだんだん身近に迫ってくる様な気がします。

この四月から七月中旬に

かけて敷島分院であつた赤痢患者は約二十名前後であります。入院日数はほとんど十日位の短期間のものが大部分で、中に二名程一ヶ月におよんだ長期間のものもありました。

この二名の赤痢菌は他の人々の赤痢菌とちがつていろいろの薬に抵抗をもつていて、特別な薬でないと効かなくなつていたので(耐性がついたと云う)耐性菌になつた原因はいろいろあります。まず考えられるのはいろいろな薬を自分で適当に使用したためであることが多いようです。

ク腹こわしクを起したらすぐ医者に相談して投薬をしてもらい、耐性菌を作らないようにすることが大切です。

### 農業委員選挙

## 当選者きまる

さる十二日おこなわれた市農業委員選挙でつぎの人々が当選しました。

- 第一区 (定員五名)  
平山日出夫(元町)、秋田嘉太郎(沖飯詰)、笠井義作(桜田)、吉岡善一(川山)、山川定助(新宮町)
- 第二区 (定員五名)  
木村三太郎(稲実)、小山西重五郎(梅田)、鹿内武夫(稲実)、一戸正吉(広田)、伊藤金陸(梅田)
- 第三区 (定員四名)  
斎藤栄(原子)、伊藤健造

- (原子)、新谷光男(前田野目)、佐々木茂雄(高野)
- 第四区 (定員四名)  
横島貞吉(松野木)、小坂源逸(戸沢)、石岡彦水門(福田)、成田久雄(野里)
- 第五区 (定員五名)

- 高橋元作(長寛)、賀谷宝雄(飯詰)、嘉山伊八郎(毘沙門)、鳴海千代作(飯詰)、坂本勇三郎(下岩崎)
- 第六区 (定員三名)  
開米喜一郎(鶴ヶ岡)、一戸助六(藻川)、野呂金八郎(藻川)
- 第七区 (定員四名)  
対馬小一郎(吹畑)、小野重造(一野坪)、小野修一(一野坪)、小田桐与助(水野尾)

## 戦争未亡人に 特別給付金

### 夏休み中を 市内パトロール

五所川原市児童生徒生活指導連盟(会長市田正治五高校長)ではことしも夏休み中市内の盛り場、映画館などのパトロールを実施、青少年の不良化防止につとめることになりましたので市民のみなさんのご協力をおねがいします。

戦争未亡人に対する特別給付金の請求については、すでに新聞あるいはラジオでおわかりのことと思います。が、今年八月一日より請求手続きをおこなうことになりました。この請求することのできる人はつぎのとおりです。

和三十八年四月一日において公務扶助料、特別扶助料、遺族年金、特例遺族年金、遺族給与金、殉職年金等を受給する権利のある人。

### ○特別給付金

#### および国債

二十万円を十年以内償還する記名国債無利子です。請求に必要な書類  
イ、公務扶助料証書、遺族年金証書、遺族給与金証

### 市役所通りは 駐車禁止

書特例扶助料証書、特例遺族年金証書、殉職年金証書のうちいづれかのもので、ただし郵便局に振替預入をされている方や、国民年金金融公庫から貸付けを受けている方は証書保管証でもよろしいのです。

ハ、請求者の住民票謄本  
一、請求者の印鑑  
二、請求者の印鑑  
なおくわしいことは市役所民生課でおたづねください

### < 稲作 >



①水のかげひき…稲ばらみ期に入るの(特に出穂前20日~10日)田圃をよく見廻り、漏水を防ぎ、無駄水をかけないようにし、平均

気温で20度以下の日が続くようであれば、10~12センチメートルの深水にします。また大雨や増水に備えて水路を整備し、畦畔の雑草を刈取る等万全を期しましょう。

- ②はいもち病防除…初発生に注意し、稲の生育が軟弱であるので、発生をみたら急激な蔓延が予想されるから直ちに薬剤散布をおこないましょう。
- ③ニカメイチュウの防除…出穂期と出穂前10日の2回防除が基準ありますが、早発地(家岸りんご園附近)などでは被害株率が7~10%になれば葉がけをおこない、その後は基準どおりに防除します。

### < りんご >

- ①気温があがると共に胞子が侵入してから病斑を形成するまでの期間が次第に短くなり、同時に葉の病斑数も急激に多くなります。病気のタネも増えて、果実に侵入するのも最盛期に入ります。被害の甚だしいところでは落葉や落果の伴うのもこの頃であるが、そうならば樹勢や来年の花芽にも悪い影響を与えることは勿論であります。最大の被害は何といつても売り値が下がることでもあります。

この期間の最大の目標は実の斑点を防ぐことでもあります。

- ②アカダニの防除もこの期間が重点であります。毎日25度~26度の暑さでは卵から親虫になつてまた産卵するまでの期間が10日~2週間とされています。暑いからと見廻りを怠たらないようにしましょう
- ③早魃は特に注意し、敷ワラや敷草を実施し、草生は必ず刈取りをおこないましょう。
- ④実の伸びかたや花芽の分化には一枚一枚の葉ツバに光線が充分あることが大切です。日当りの悪い下枝などから早目に支柱立てをおこないましょう。